

食の志向「健康」低下、「経済性」が上昇

日本公庫
消費者動向調査

「簡便化」は右肩上がりでも推移

日本政策金融公庫は1月、消費者の食に関する志向調査を行い、このほか、健康志向が令和2年7月調査以来、3半期連続で低下に転じた。調査はインターネットで実施している。

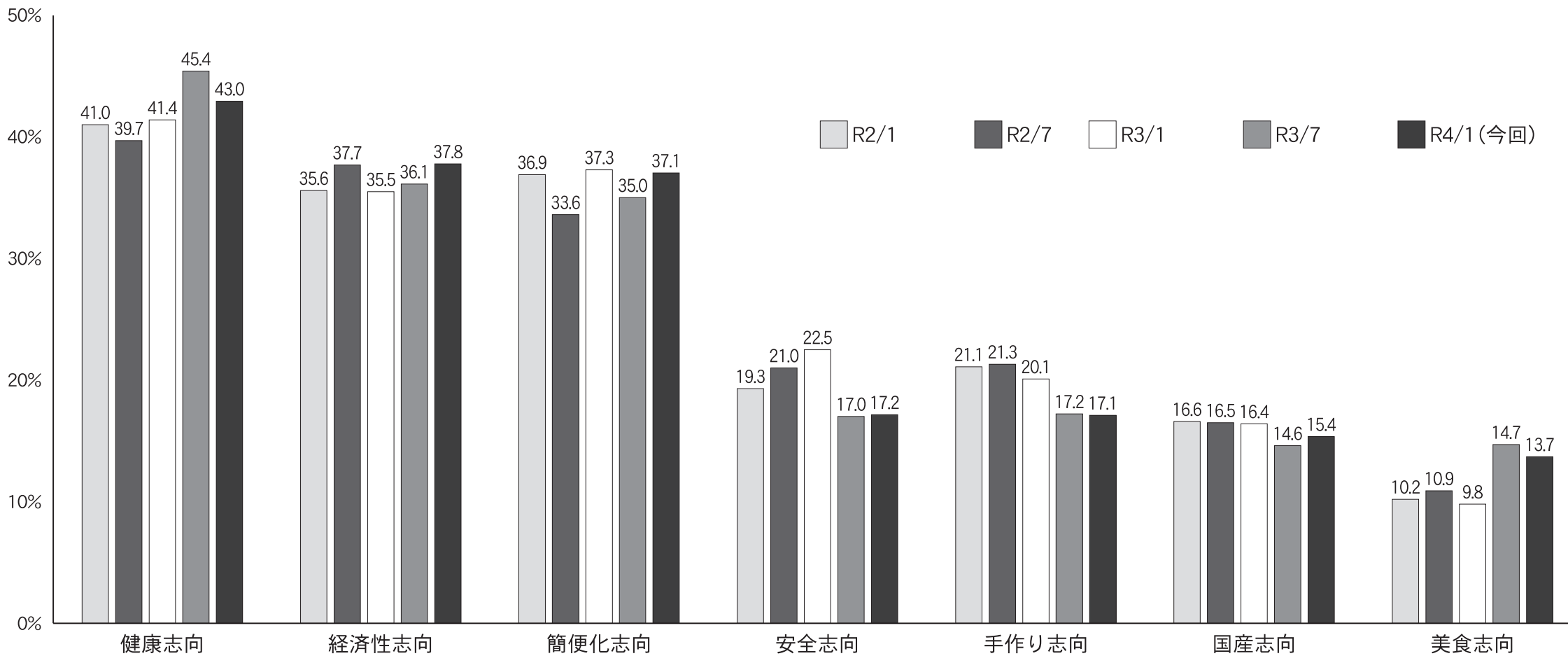
「健康志向」は前調査より1.7ポイント低下した。健康志向は20代で53.2%、30代で49.7%、40代で47.8%、50代で45.7%と年齢が高くなるほど低下している。特に60代で9.8ポイント低下した。健康志向は20代で53.2%、30代で49.7%、40代で47.8%、50代で45.7%と年齢が高くなるほど低下している。特に60代で9.8ポイント低下した。

「経済性志向」は1.7ポイント上昇した。経済性志向は17.2%、18代で17.2%、19代で17.2%、20代で17.2%と年齢が高くなるほど低下している。特に60代で9.8ポイント低下した。健康志向は20代で53.2%、30代で49.7%、40代で47.8%、50代で45.7%と年齢が高くなるほど低下している。特に60代で9.8ポイント低下した。

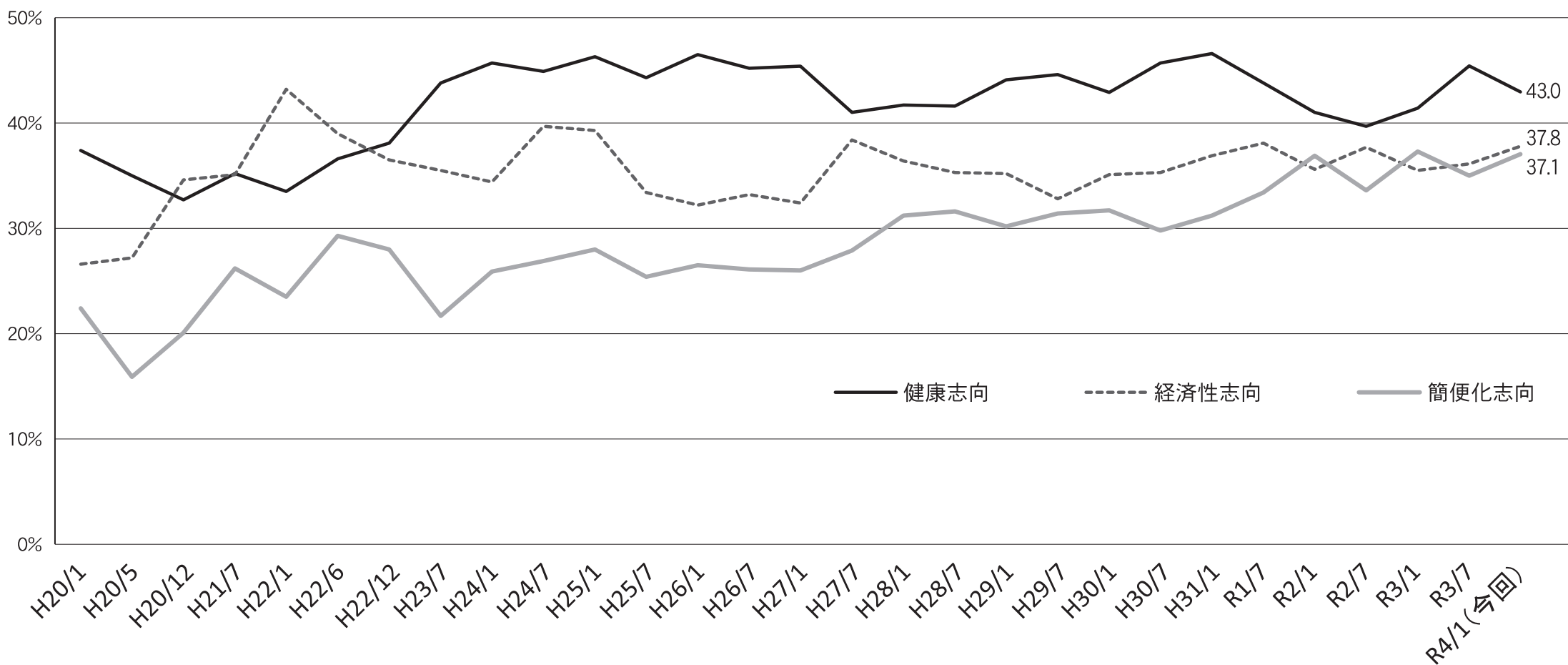
「簡便化志向」は2.1ポイント上昇した。簡便化志向は37.8%、18代で37.8%、19代で37.8%、20代で37.8%と年齢が高くなるほど低下している。特に60代で9.8ポイント低下した。健康志向は20代で53.2%、30代で49.7%、40代で47.8%、50代で45.7%と年齢が高くなるほど低下している。特に60代で9.8ポイント低下した。

調査データ

食に関する志向(現在の食の志向)



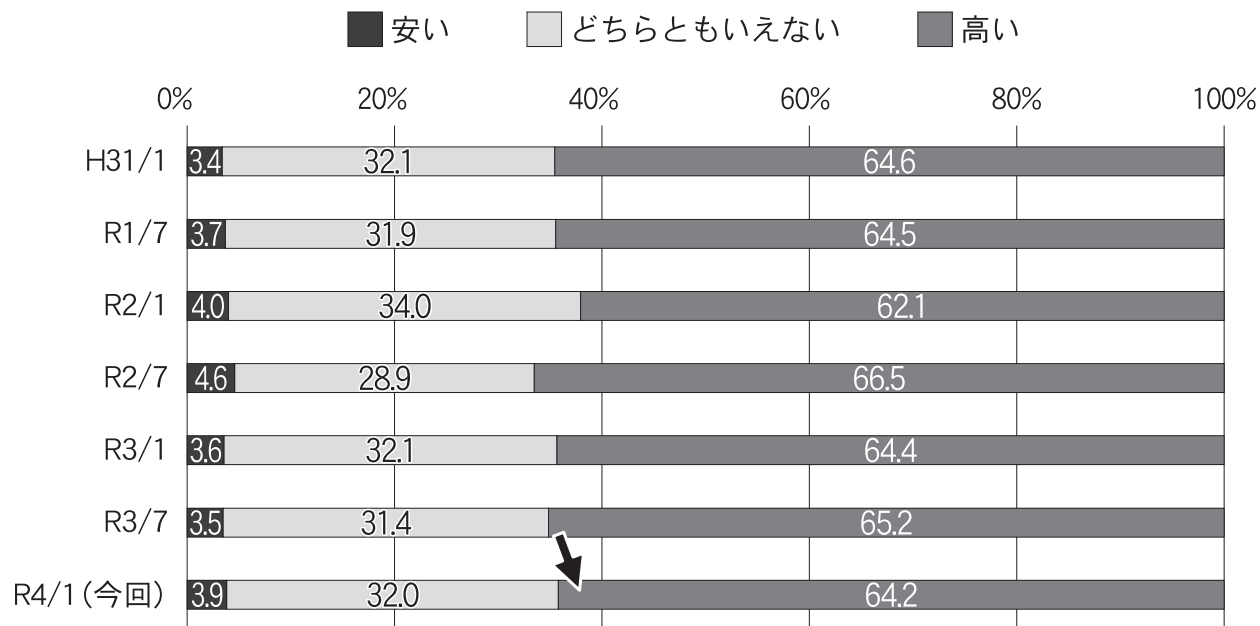
食に関する志向(現在の三大志向、平成20年1月調査からの推移)



国産品かどうかを気にかけるか(国産・輸入食品に対するイメージ)

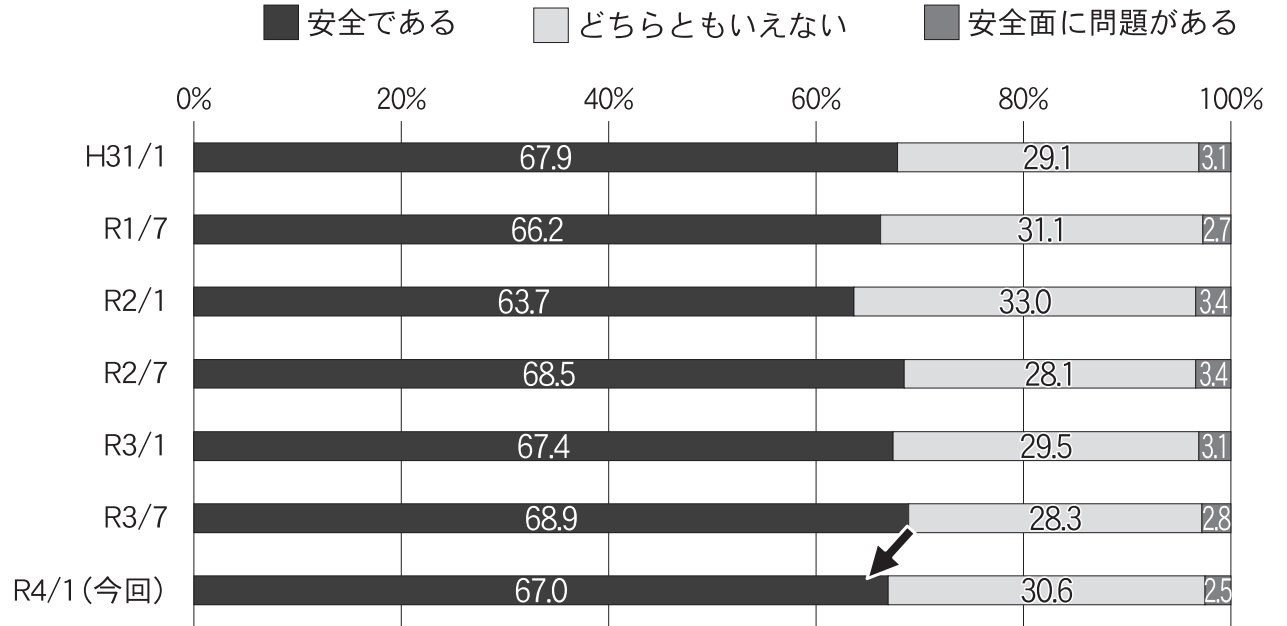
〈価格面〉

(国産食品)

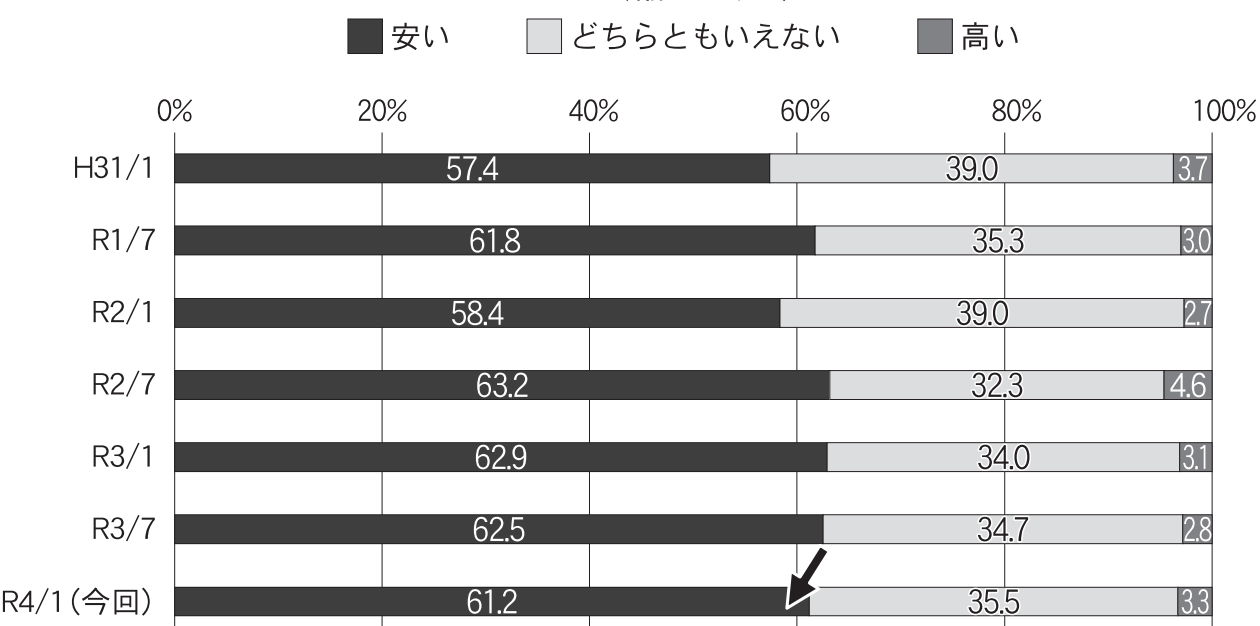


〈安全面〉

(国産食品)



(輸入食品)



(輸入食品)

